

# 令和2年度授業改善推進プラン

## 東村山市立 秋津東小学校 第4学年

教科等	資質・能力	在の児童・生徒の実態や授業についての分	授業改善のための具体的な方策 【主体的・対話的で深い学び】
国語	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>日記や作文など書くことが好きな児童が多いが、学習した漢字を用いて文章を書くことができない。</li> <li>段落構成に気を付けて書けるようになってきたが、主語や述語、修飾語の構成を理解するのは難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近に国語辞典や事典を置いておき、言葉の意味やその扱いについてすぐ調べられるようにすることで、活用の仕方を身に付ける。</li> <li>まず主語・述語をしっかり捉え、修飾語の働きを押さえる。</li> </ul>
	思考力, 判断力, 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>筋道を立てて考えたり、構成にそって文章を書いたりして、自分の思いや考えを進んで書くことはできるが、具体例を用いて表現できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語活動例を提示することで、自分の考えをまとめやすくしたり、具体的に表現できるようにしたりする。</li> </ul>
	学びに向かう力, 人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書好きが多いが、登場人物の気持ちや行動について叙述を基に捉えることが不十分である。</li> <li>友達の考えを自分の考えに生かすことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを少人数で伝え合う活動を計画することで、表現力を養う。</li> <li>音読活動を積極的に取り入れる。</li> <li>司書教諭と連携し、関連図書を用意し、幅広い読書を推進できるようにする。</li> </ul>
社会	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習時に興味をもって理解していても、知識としての定着が不十分である。</li> <li>東京都の地理についての理解が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材が自分たちの住む東京都のことであることを強く意識させる。</li> <li>資料などを活用した新聞作りなどで学習したことを整理し、まとめさせる。</li> </ul>
	思考力, 判断力, 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習や活動を通して収集した情報を整理し、まとめることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分な量の資料を示すとともに、社会科見学や体験学習などで得た情報を整理・活用し、知識を定着させるとともに、思考力や判断力を深めていく。</li> </ul>
	学びに向かう力, 人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都から出にくい状況が続いており、日常生活の中での社会科的な視点での問題に、気づきが少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュース・新聞記事を活用したり、水道や消防など学習したことを広げることで、社会科への関心を高め意欲的な態度を養っていく。</li> </ul>
算数	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>わり算の筆算では、正確に計算する力が十分身に付いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>答えの見当をつけて解く習慣をつける。また、計算の確かめをさせ、自分でつまずきの原因に気付けるようにする。</li> <li>計算ドリルやプリント、ベーシックドリルで繰り返し練習し、学習の定着を図る。</li> </ul>
	思考力, 判断力, 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>応用問題になると既習学習を生かせない児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問われている内容をていねいに読み取り、分かることを1つずつ整理していく習慣をつける。</li> </ul>
	学びに向かう力, 人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだことを使おうという意識や新しいことを知ろうという意欲が高い。</li> <li>問題解決に向けて見通しを立てて学習することが不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人が十分に課題解決できる時間を確保すると共に、解決方法を発表しあえる場を設定する。見通しを立ててから解決に入る。</li> </ul>
理科	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的・基本的な定着が不十分である。</li> <li>実験や観察の技能には個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分な体験を通して技能を高め、理解を深める。毎時間のふり返りを確実に行う。</li> <li>視聴覚教材を活用し、実験・観察時の視点や学びを共有する。</li> </ul>
	思考力, 判断力, 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想することが乏しい。</li> <li>観察したことや実験したことがどのように様々な事象と結びついているのかを考察するのが苦手。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元での学習のどんなことが身の回りのことと関係しているのか気付かせる活動を行っていく。</li> <li>疑問を解決できる方法を考えることに十分な時間をとる。基本的な文のモデルを提示することで、結果からわかったきをまとめたり、考察の文章を書いたりしやすくし、繰り返し自分の言葉で表現する経験を積ませる。</li> </ul>
	学びに向かう力, 人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科好きな児童は多い。</li> <li>自身の身の回りの事象と学びを関連付けて考える経験が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習を生活体験や身の回りの事象に繋げて理解を深めるとともに、日常生活に対する。理科的な視点を養い、学習意欲を高める。</li> </ul>
	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲想や曲の特徴に気付くことができる。</li> <li>リコーダーのサミングの指使いが定着していない児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことを振り返りながら、一人一人に応じた個別指導の時間を設け、スモールステップで定着を図る。</li> </ul>

音楽	思考力, 判断力, 表現力等	・楽曲から聴き取ったり感じ取ったことを生かしながら、思いや意図をもって表現することが課題である。	・児童の思いやアイデアを認め合い、表現の高まりを教師が具体的に伝え、共有するようにしていく。
	学びに向かう力, 人間性等	・音楽活動をする楽しさを感じる児童が多く見られるが、音楽経験においては個人差がある。	・児童の発達段階や実態に合わせて教材を選択し、音楽への興味・関心を高めながら表現の幅を広げていく。
図工	知識及び技能	・様々な道具、用具、材料に対する関心が高く、意欲的に取り組んでいる。	・道具や用具を使う経験を増やし、自分の思いを生かした作品作りを進めていく。つまづいている児童にはより具体的な助言をしていく。
	思考力, 判断力, 表現力等	・絵画などは表現力が豊富な児童が多く、積極的に取り組んでいる姿が見られる。	・投げかけを工夫した導入や主体的になる授業展開を実施し、意見交換を行いさらに自分の構想を広げていく。
	学びに向かう力, 人間性等	・意欲的に楽しみながら取り組んでいる児童が多く、絵画、工作とアイデアをいろいろ出すことも多い。	・さらに意欲を持って取り組めるような題材やテーマを工夫して取り組んでいる。
体育	知識及び技能	・健康な生活については理解している。身体の発達についても肯定的に受け止め、理解している。技能については、個人差が大きい。	・児童同士で声をかけ合い、教え合いながら活動する場を設定する。ゲーム領域では、ルールを工夫しながら楽しく運動できるようにする。
	思考力, 判断力, 表現力等	・体を動かすことは好きだが、目標をもって体を動かす児童は少ない。また、ゲームの作戦を考え、チームに伝える経験が少ない。	・準備運動をはじめ、すべての動きにはねらいがある事を理解させる。 ・チームで作戦などを考える話し合いの機会を設ける。
	学びに向かう力, 人間性等	・身体を動かす心地よさを味わい、基本的な動きを身に付けようと一人一人が努力している。	・固定施設などの運動を取り入れ、休み時間にも積極的に体を動かそうとする態度を養う。
外国語	知識及び技能	・外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんで、楽しく活動する児童が多い。 ・体験を通して異文化に触れる機会が少ない。	・チャンツやゲームなどを通して音声に十分慣れ親しむ。 ・ALTに自国の文化・風習について教えてもらう。
	思考力, 判断力, 表現力等	・自信がない児童も繰り返し練習をすることで、自分の気持ちを伝えることができるようになってきた。 ・音声に慣れ親しむ時間が十分でないときもある。	・先生と友達とのやりとりを聞き、表現方法に慣れ親しんだり、友達の表現を見習ったり、して自分の気持ちを伝えられるようにする。 ・日常的にも他言語を取り入れ、やり取りする。
	学びに向かう力, 人間性等	・主体的にコミュニケーションを図る児童が多い一方、消極的な児童も見られる。	・簡単な活動から徐々にステップアップさせる。 ・場面の設定を工夫し、実践的な活動を取り入れる。
総合	知識及び技能	・教科学習と関わりのある内容については深まりや広がりがあるが、課題解決に必要な知識及び技能が乏しい。	・図書やインターネット、インタビューなどの調べ学習を通して、自分で必要な情報を収集し活用する力を育てる。
	思考力, 判断力, 表現力等	・主体的に追究する力は個人差が大きい。課題設定をしたり、課題解決の見通しを立てたりすることが苦手な児童がいる。	・少人数での活動の中で課題解決の方法を話し合ったり、友達や自分の意見を共有したりするなどして関わりを深め、協同して活動ができるようにする。
	学びに向かう力, 人間性等	・全般的に意欲が高い。課題によって意欲の個人差はある。	・ゲストティーチャーの活用や、異学年への発表を通して、主体的に活動できるようにする。